

令和4年度 寒河江市振興審議会 議事録（概要）

日 時 令和4年10月7日（金）10:00～12:02

場 所 市役所1階 議会会議室

出席者 委員17名 副市長以下事務局

欠席者 委員3名

●有識者意見要旨

【交付金検証】

- ・個別事業のABC評価の中で、「更なる取組が必要」とのC評価の割合が高いが、全体評価が「推進が図られ有効であった、全て推進が図られ有効であった」との評価は妥当か。
- ・コロナ禍の影響で数値の低下が見られ、「達成できない項目が多くあるなど、更なる取組が必要な項目があるものの、各事業の実施により推進が図られ有効であった」との記載がある。どのような形で推進したのか、そして有効になったのか。
- ・全体的な数字の捉え方として、今、コロナ禍という言葉があえて必要なのか。コロナ禍であったということの大前提とすれば、概ね順調に推移できたという数字がある。更なる取組が必要だ、コロナ禍だからC評価になるという説明でなく、順調に推移できたということでもいいのではないか。

【結婚・出産・子育て】

- ・結婚活動の支援について、民間活用を今年度検討、来年度実施するとあるが、前倒しできないか。このままでは目標達成が難しいのではないか。今の若者は、民間のマッチングアプリや婚活パーティで知り合うことが多いようだ、進めてほしい。
- ・寒河江市立病院へ小児科や夜間診療を設置いただきたい。
- ・子供や家庭が抱える問題の対応が、複雑化を背景に困難となっているとの新聞記事があった。子供たちの生活環境整備を重要課題と位置づけて、対応の強化を目指していただきたい。
- ・安心して産み育てられる環境作りについて、子供世代の交流の場を整備というハード面ではいろんな部分で工夫されている。しかし、コロナ禍の影響でそこに行けないなど、一人で悩んでいるお母さん達、疲れてるお母さん達が多くいるようだ。

【学校・教育】

- ・目標指標の7番の「『思いやり』の意識」について、97パーセントあるとの結果が出たが、いじめや子どもの社会問題化、家庭の問題化等様々な子どもたちの問題があるという時に、いじめの件数がどうなのかについてもアンケートに加えて、市民の判断をい

ただかないといけないのではないか。

- ・目標指標 12 番の「英語検定 3 級相当以上のスコアを取得している中学 3 年生の割合」について、少しずつアップしており、取り組みを評価する。
- ・子ども達の安全な登下校、保護者の安心のため、通学路の防犯カメラ設置を進めていただきたい。
- ・学校統廃合によって、きめ細やかな教育ができるのか心配との意見もある。地域で子供を育てていくところが魅力的であり、人数が少ない学校で子育てをしていきたいとの意見もある。
- ・小中学校の統合問題については、意見がすごく分かれている。中学校が一つになることに対しての不安感が保護者にも地域の方にもいっぱいある。どういうことが子供達にとって、そして寒河江市にとっていいのかということについて、もう一度、意見をいただいたものを参考にしながら考えていただきたい。
- ・各地域を回っての意見交換会について、参加すると反対派に取られると考え、なかなか参加しない人が多いという話も聞いた。地域意見交換会だけでなく、ほかに意見を拾い上げる方法も採っていただきたい。
- ・小中学生に、市への関心を持ってもらうため、学校において市報を活用した取り組みがあってもよいのではないか。
- ・計画を、より細やかに、具体的な行動に移す配慮が欲しい。今の市報は、小学生が読めるところ、読みたいところは無いのではないか。学校紹介など内容の工夫も必要ではないか。
- ・食育は大切であるが、現在黙食となっていると思う。楽しく食べる、喋りながら食べる、それが心の栄養につながると考えている。食育について、栄養だけではなく、楽しく食べたり、それがどう自分の心と体に関わっているのかということを含めて考えていかなければいけないと思う。
- ・先生方がとても疲れているようだ。また、保護者の方と顔を合わせる機会が減ってしまったと聞いている。そういうつながりがこれからは大切である。コロナ禍が明けた時の学校の対応など、いろんな心の面とか、その辺も含めて考えていかなければならない。

【農業振興】

- ・ふるさと納税について、昨年より伸びていると聞いた。JAを含めたブランド化がふるさと納税にもつながっていると思う。寒河江市としてのブランド化についての考えを聞きたい。
- ・サクランボ施設の老朽化に対しての助成は、どのようになっているか。
- ・米について、市から 4 年産の種粳助成等をいただいた。概算金が値上がりしたが、来年も作ろうという意欲が出るような価格までは届いていない。つや姫については、国民はコロナの影響で安い米に移行し、売れ行きの進捗が進まない状況である。

- ・電気料、原油高、農産物資材の値上がり等々が進んでいる。持続可能な農業をするための補てん金をお願いしたい。
- ・異常高温、大雨、洪水による被害等々、第一次産業である農業が自然災害の多発する中で経営となっており、非常に苦しい厳しい状況の中にある。

【商工振興・雇用】

- ・目標指標 23 番の「創業支援者数」が伸びているが、どういうものを創業しているのか。益々伸ばしていただきたい。
- ・今回の経済対策に大変感謝申し上げたい。引き続きお願いしたい。水道料金基本料の免除、生活弱者や子どもへの支給を評価したい。
- ・チェリンペイ、さくらんぼ振興券によって中心商店街に人が来るようになったが、市民からの評価を聞きたい。
- ・企業の元気が出るような取り組みを、市、商工会とも連携しながら考えていきたい。
- ・企業誘致について、若者や女性が働きたいと思えるような企業誘致をお願いしたいという意見があるが、なにか考えていることがあれば知りたい。
- ・中心市街地の活性化は必要であるが、フローラにも集まらない状況である。何か工夫できないか、一緒に考えてやっていきたい。

【防災・防犯・交通安全】

- ・緊急時の避難について、一昨年7月28日の豪雨時は混乱が多かったと、町会、連合会では考えている。防災危機管理課と具体的なプランについて意見交換しておく必要があると考えている。
- ・前回の水害時は、福祉避難所としての対応もしたが、市からの依頼も夜遅い段階で行われ実施した経過がある。今後も災害が来るとするため、市と施設と一緒に具体的なシミュレーションができるような検討会を持てたらよい。

【地域づくり・男女共同参画】

- ・男女共同参画月間などにおいて、市報を活用し、寒河江市の取組状況や男女共同参画はなぜ必要なのかなどについて広報していただきたい。
- ・商工会と市が協力し、仕事と家庭の両立支援や女性の登用についての講演を実施するなど、具体的な取り組みが必要ではないか。
- ・住みやすいまちとは、安心できる場であることだと思う。また、地区が元気であって、気軽に近所の人たちとのコミュニケーションが取られることだと思う。そういうまちづくりというのが、これからとても大事だと思う。

【生涯学習・スポーツ・文化】

- ・慈恩寺テラスが、お盆期間中の火曜日が休館日だった。帰省客を案内しようとしたができなかったという話を聞いた。休みを次の週にとるなど、きめ細やかな配慮が必要ではないか。
- ・慈恩寺の他、各地区には各地区の遺産がある。掘り起こしが必要ではないか。
- ・チェリーランド、長岡山、二の堰親水公園の既存施設三点を結んで活用いただきたい。

【行財政運営】

- ・イベント情報等について、市では、様々な情報手段で配布配信していると思うが、結果的には新聞で知ったという声を多く聞いている。

【アンケート全般】

- ・市民アンケートの回答率が35.5パーセント、その内、60代が57パーセント、50代が14パーセントの回答とある。そのため、「今後も寒河江市に将来も住み続けたいと思うか」の回答が76.5パーセントとなっているのではないか。
- ・新第6次振興計画は中学生ぐらいまで影響してくるのではないかと思う。アンケートの実施は、無作為ではなく、中学生や保護者に全ての回答をいただければ、子育て等のいろんな悩み等が得られるのではないか。中学生、高校生が流出すると、この新第6次振興計画もうまくいかず、本当に老人社会になってしまうのではないかと心配している。もう少し若い人たちから聞けるようなアンケートにしていきたい。
- ・このアンケートに含めるかどうかは別にして、高校生にも聞いてもらえたらいいのではないか。寒河江工業高校生徒の40パーセントが寒河江市の3中学校から進学しており、西村山地域ではほぼ6割となっている。6、7割が寒河江市内に就職している。進学しても寒河江市に戻ってくる子供たちが多い。寒河江で育って、寒河江で生活していく子供たちが多いため、アンケートを参考として取っていただきたい。協力したい。
- ・市民アンケートの結果に、住みやすさとか将来も住み続けたいかについて、非常に高い数値が出ている。否定的な意見を書いている人の中に施策のポイントがあると思う。
- ・アンケート内容が難しく、真剣に取り組まないとなかなか書けない内容が多かった。もう少し書きやすい方法を検討していただきたい。